

富山大学における MR の技術支援

○城戸 良介、上田 和彦、丸山 博
富山大学 五福地区技術部

1. はじめに

富山大学五福地区技術部では有志数名で技術支援プロジェクトを発足し、複合現実：Mixed Reality(以下 MR)を用いた技術開発・技術支援を行っている。本報告ではプロジェクト発足より行ってきた技術支援について紹介する。

2. 富山大学の技術支援体制と経緯について

富山大学技術部では 2021 年より有志数名が集まり MR プロジェクトを発足してきた。開発経験のある学生からの技術継承から始まり自らプログラムを開発できるようなレベルまでのスキルを習得できた。また、技術の取得と同時に医学部と工学部への技術支援を行ってきた。

3. 医学部における技術支援

医工連携の共同研究が始まり医学部と工学部の間で開発を行った。初めに医局の見学を行い、医学部側の希望調査とアプリのイメージを共有した。サンプルアプリの作成を始めてからは遠隔と対面によるデモンストレーションを行った。医学部側によるアプリの確認・打合せ議事録の作成・アプリのアイデアやデザイン等の開発業務を行った。

このような共同研究に参画するようになってからは学内の競争的研究資金の研究協力者として研究プロジェクトへ参画した。その他にも特許申請や共同開発先との会議にも参加し、技術提供以外にも幅広く研究開発に貢献している。

4. 工学部における技術支援

富山大学工学部では「リーダー育成実践学」という講義科目を開講しており、学生がリーダーシップと自らのアイデアをもってものづくりに挑む。昨年度より同科目の学生プロジェクト「MR プロジェクト」のアドバイザーとして参画し、学生の MR プログラムのものづくりに対しアドバイス・技術支援を行った。

コンピュータープログラミングに対して初めて取り組む学生が多く、Unity/C#の基本的な操作方法等の基礎的な内容・筐体の説明・プログラムのテスト・評価までを幅広くアドバイスをした。